令和３年度（2021年度）　シラバス

教科	英語	科目	英語表現Ⅰ	必修	2単位
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。				
教科書	Revised Vision Quest English Expression Ⅰ Adavanced	副教材			
準備物	教科書・ノート・辞書				

１　学習目標と評価（どのような力を、どのレベルまで身に付けるか）

観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
旭東ＤＰ	【認知力】 【分析力】	【思考力】 【表現力】		【行動力】 【共感力】
割合	30%	表現(30%)	理解(30%)	10%
Ａ	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などをしっかり理解している。	学んだ文法を用いて、様々なトピックについて文章を書いたり、話したりすることができている。	音声教材やペアを組んだ相手の話を的確に捉えたり、パラグラフの構成や文章の要点を理解することが十分できている。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的な言語活動を通して、コミュニケーションを図ろうとしている。
評点	17～30	17～30	17～30	8～10
Ｂ	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	学んだ文法を用いて、限定的なトピックについて文章を書いたり、話したりすることができている。	音声教材やペアを組んだ相手の話を的確に捉えたり、パラグラフの構成や文章の要点を理解することができている。	コミュニケーションに関心を持ち、言語活動を通して、コミュニケーションを図ろうとしている。
評点	9～16	9～16	9～16	4～7
Ｃ	言語やその運用についての知識や、その背景にある文化などの理解が不十分である。	学んだ文法を用いて文章を書いたり、話したりすることが不十分である。	音声教材やペアを組んだ相手の話を的確に捉えたり、パラグラフの構成や文章の要点を理解することが不十分である。	コミュニケーションに関心を持ち、言語活動を通して、コミュニケーションを図ろうとする姿勢が不十分である。
評点	～8	～8	～8	～3
評価方法	定期考査 各種テスト	定期考査 表現活動	定期考査 表現活動	授業の様子

２　学習計画（いつ、何を学ぶか）

月	単元名	主な言語材料	具体的な学習内容
4 5	Lesson 1,2	文の種類 文型と動詞	相槌を打つ、聞き直す 言い換える、話題を変える
5 6	Lesson 7,8	不定詞 動名詞	感謝する、謝罪する 勧誘する、申し出る
6 7	Lesson 3,4,5	時制 完了形 (現在完了・過去完了) 助動詞	計画する、予定する 原因・理由を述べる
7 8	Lesson 9	分詞 分詞構文	賛成する、反対する
8 9	Lesson 10	関係詞 関係代名詞・関係副詞	説明する
9 10	Lesson 6	受動態	喜ぶ、驚く
10 11	Lesson 12	仮定法 仮定法過去・仮定法過去完了	助言する、提案する
11 12	Lesson 11	比較	意見を述べる、主張する
12 1	補助教材①	時制の一致 話法	既習事項を用いて長めのスピーチをする
1 2	補助教材②	名詞構文 無生物主語	既習事項を用いてプレゼンテーションをする
2 3	補助教材③	名詞・代名詞 形容詞・副詞	既習事項を用いて長文を書く
3	補助教材④	前置詞 接続詞	既習事項を用いて長文を書く

３ 学習方法（どうやって学ぶか）

1) 参考書等を活用し、十分な準備をして、理解が不十分なところを見つけ出し、授業に臨む。
2) 授業中は、教科書・ノート・辞書・参考書等を活用しながら、授業内容の理解に努める。
3) 授業での言語活動(ペアワークやグループワーク、発表など)には積極的かつ主体的に取り組むこと。
4) 授業終了後は、ワークブック等を活用して必ず復習をし、知識の定着を図るとともに、参考書や問題集等を通じて、発展的な内容に自ら取り組むこと。
5) 週末、長期休業中の課題等に取り組むことを通して、家庭での学習習慣の確立を図ること。